

「戦争法」廃止の政府を！消費税増税許さない！

比
例
代
表

いせだ良子、福岡選挙区 しばた雅子を国会へ



憲法違反の「安保法制」廃止の国民連合政府を実現し、立憲主義、民主主義を守ろうと、元気いっぱい政策を訴えるいせだ良子・比例代表予定候補（左）としばた雅子・福岡選挙区予定候補（右）

戦争は二度と繰り返してはいけない

私の子ども時代は、戦争の真っ只中で、いつもお腹をすかし、空襲で恐ろしい目にも遭いました。鞘ヶ谷の空襲で、仲の良かった友達が多くなりました。そんな戦争のことなど知らない安倍さんにとっても心配です。今年のお盆は、こ

れまで胸にしまっておいたあの頃のことを思い切って高校生の孫に話しました。どこまでわかってくれたかはわかりませんが、あのような思いはさせたくありません。戦争は絶対にイヤです。
(沖台にて 70代女性)



戸畑区日本共産党後援会ニュース

第52号

2016年1月発行

発行責任者
配川 寿好

北九州市戸畑区
天籟寺1丁目1番15号
Tel.873-3735
(部内資料)

いよいよ政治を変える年の幕開けです。日本共産党は、半年後に迫った参議院選挙で、定数3の福岡選挙区にしばた雅子さん（31歳）の擁立を発表（昨年11月26日）し、九州・沖繩の比例代表のいせだ良子予定候補とともに、なんとしても国会へ送ろうと全力をあげています。



厳しい冷え込みの中を集まってくれたみなさん一人ひとりにあいさつするしばた雅子さん（浅生市場前・12月16日）

激動の年

2016年の幕開けです

民主主義とくらしを守るために
今年も年頭から全力をあげます



北九州市議員
荒川 徹

憲法違反の「安保法制」を強行し、原発の再稼働、沖縄・辺野古への米軍新基

地建設のやり押し、そして消費税増税と医療・介護・年金改悪の「二重苦」押しつけなど、国民の声に耳を傾けない安倍政権の暴走にストップをかける参議院選挙が目前です。
今年も全力で頑張ります。政治を変えるために、力を合わせましょう。

「戦争法」廃止を求める

統一署名運動を広げよう！

ヨイサ!

2016年が始まった。戦争法が施行され、沖縄辺野古新基地建設が強行されようとして、いる上、消費税増税を翌年に控へ、益々国民の暮らしが大変な年となるだろう▼ただ昨年と決定的に違うのは「戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」など、国民の側から反撃するための確固たる運動体が誕生しており、また野党が共同して参院選を闘う機運が高まっていることである。共産党が提唱した国民連合政府構想は、マスコミの扱い以上に政権にプレッシャーを与えている▼今年参院選の年である。安倍政権は参院選に負けないから、必死に「アメリ玉」作戦を進めている。軽減税率や臨時給付金などである。その上有名人の擁立などなりふり構わず突進するに違いない。「一強多弱」といわれ盤石のほずの安倍政権は、実はもろさも併せ持つ。戦争法にしても辺野古でもTPPでも国民の過半数の支持を得ていないのだ▼それにしても14年の総選挙で共産党が躍進してよかった。志位委員長が頻りにマスコミに登場するのも、野党共闘の進展もこの躍進によって発言力が増したからである。参院選も勝利して、国民の声が届く国会へと改革していかなければならない。健康に留意して、精一杯頑張ろう。

プロフィール

参議院比例代表予定候補

伊勢田 りょうこ

いせだ 良子

1974年福岡市生まれ(41歳)。二児の母として、子育てと候補者活動の両立に目下奮闘中。

安倍政権に子どもたちの未来はまかせられません。「すべての人が大切にされる世の中をつくりたい」。私は強く決意しています。



参議院福岡選挙区予定候補

柴田 まさこ

しばた 雅子

1984年福岡市生まれ(31歳)。

まだ駆け出しですが、「政治を変えたい」の思いは誰にも負けません。働く人、日々懸命に生きている人々の視線を大切にしながら頑張ります。



戸畑古図から見えてくるもの ②

戸畑郷土史会会員 安田 潤児

戸畑古図によると、文政・天保の頃、筑前国遠賀郡戸畑村に記載されている文言の中で意外に多かったのが堤である。戸畑村には二つの集落があった。一つは海岸の漁人地区、もう一つは山林の天籟寺地区である。古図を見ると戸畑村の中央を流れる天籟寺川があるだけで、鞘ヶ谷と大谷

考えられない。しかし、生活していくうえでは水がないと食料を生産することができない。その水の確保のために、堤を造ったのである。このようなことが原因で、必然的に堤が多く造られたと考えられる。牧山地区に三カ所、漁人地区に四カ所、沢見地区に三カ所、天籟寺・大谷地区に三カ所ある。水田、畠を住民が耕作

かつて一三あった堤の多くは、いまは学校や公共の施設に変わっているが、夜宮の堤と巡り坂堤は、公園として残っている。水のありがたさを感じながら、次回は神社、寺、堂について、また洞海湾に浮かんでいた小島についても書いてみたい。(つづく)



市営住宅、学校、図書館などの削減計画

市民の意見・要望どう反映するか — 問われる市の対応



北九州市会議員 荒川 徹

北九州市では、公共施設の多くが10数年後に一斉に建て替えの時期を迎えるとして、今後40年間で24%削ることを発表しました。

市住廃止や学校閉校など

市は「実行計画」(素案)で、公共施設全体の約34%を占める市営住宅を現在の約3万3千戸から、40年間で約2万戸まで減らし、学校も、現在の193校から統廃合で47校を閉校にするとしています。市民センターを除く図書館や

スポーツ施設など、身近な公共施設全般が削減の対象となつていきます。

情報公開の徹底と

市民の知恵を集めた計画に

市は、こうした計画推進にあたって、「情報公開と市民の理解」としていますが、12月の市議会では、現在八つある市立幼稚園のうち四園の廃止、新たに八校の学校給食調理業務を直営から民間委託に切りかえるなど、市の方針を一方的に市民に押し付けるやり方が問題となりました。市民への情報公開と、今後の議論を通じて市民の知恵を生かした計画になるよう全力をあげます。

られる低地のそばの高台には、必ず堤が存在している。このため、自給自足の生活ができたと思う。漁人の集落と天籟寺の集落に画かれている家の数を数えてみると、漁人集落が85軒程度、天籟寺集落が40軒余り、その他2軒、戸畑全体で約130軒くらいだったと思われる。いまから約200年前のことである。天籟寺川の水と堤の水ですべての田畠の水と生活用水は確保できたと思われる。



くすりのことなら ふれあい薬局戸畑店

戸畑区新池1丁目5-30

☎ 093-881-2332